

イチゴ好きな人を魅了できるイチゴを作りたい

豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課

氏名 永田 幸久 さん
経営類 施設野菜（イチゴ）
市町村 豊田市



永田幸久さん

1. 経営概要

- (1) 経営規模 施設 2,000 m²
- (2) 労働力 家族3名（本人、妻、母）
- (3) 販売 全量市場出荷（JA共選）

2. 就農までの経緯

実家は果樹園を経営していました。22歳の時、ワーキングホリデーを活用してオーストラリアのイチゴ農場（露地栽培）で1年間、働きながらイチゴ栽培を経験しました。これがきっかけとなり、平成28年9月、34歳の時、実家の農地にハウスを建ててイチゴを栽培しようと思い、農業改良普及課に就農相談しました。

イチゴ部会に所属する近隣の先輩農家で平成28年12月から研修を受けました。平成29年10月には就農認定を受け、青年等就農資金を活用して2,000 m²のハウスを建設し、高設栽培システムを導入して、平成30年度作からイチゴ経営を開始しました。



収穫開始直前の状況

3. 現在の取組

試行錯誤を繰り返しながら、品質の高いイチゴづくりを目指し、環境制御や肥培管理等、栽培技術の研鑽に励んでいます。特に、イチゴが好きな人を魅了できる、大きくて美味しいイチゴを沢山作れる農家になりたいと思います。また、現在はJAあいち豊田いちご部会の役員も務めており、部会活動を活性化する方策についても、探求・模索しています。

4. 今後の抱負

ゆくゆくは、現在の部会の共同出荷から、就農を志した時の目標だったイチゴ狩り園へ、経営転換したいと思っています。しかし、コロナの渦中で社会経済の見通しが難しいので、当面は、品質の高いイチゴを部会共選に沢山出荷できるよう努力するとともに、勉強会や現地指導会等部会活動にも参加して、先輩や仲間と栽培技術の向上に努めたいと思います。

Copyright (C) 2021, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.